

事業所名

放課後等デイサービス ココロ

支援プログラム

作成日

R6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念	一人一人の「やってみたい!」を応援します。 葛藤を調整する力、主張する力、折り合いをつける力を育てます。 一人一人の心に寄り添い秘めた可能性を引き出すお手伝いをします。				
支援方針	お子さん一人一人がいろいろな遊びや活動を通して「できた」を体験すること、「やってみたい」と思うこと、「たのしい」と感じる事を大切にしています。 それぞれのやりたい事を実現するために必要な事、出来ることを常に考え意見を出し合い支援しています。 家でも学校でもない第三の居場所となるよう、安心して活動できる環境作りを心がけています。				
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	お子さんの健康状態のチェックを行い変化があれば保護者と情報共有を行っています。 将来の自立に向けて必要な生活スキルの向上を目指し、うがい、手洗い、歯磨き、荷物の整理や持ち物の管理、みだしなみを整える、時間を見て行動するなど基本的な生活スキルを獲得できるように、個々に合わせた支援をしています。			
	運動・感覚	特性上、体を思い通りに動かさず運動する機会が少なかったり、苦手意識が強くやる前から諦めているお子さんがいます。外遊びや体育館で「たのしく体を動かす活動」の機会をつくり支援者がじっくりと関わり、出来ることをスモールステップで増やして「やる気」と「自信」を育てています。 月ごとの運動プログラムを作り、お子さんの発達段階に応じた運動を行い心と体の成長を促しています。（感覚調整障害、発達性協調運動障害への対応） 【運動プログラム】 キッズヨガ、サーキット運動、行進、ダンス等			
	認知・行動	それぞれの発達のレベルに応じ必要な発達を促すための教科学習を行っています。（ドリル、個別課題等の学習教材使用） 認知の偏りが問題行動に繋がらないよう予防・適切な行動への対応を特性に応じ理解しやすい方法で行います。 【SST（生活、気持ち）ワーク】 発達段階に応じ個別またはグループで学習します。（自己認知スキル、コミュニケーションスキルの獲得）			
	言語 コミュニケーション	英語やダンス、カラオケなど楽しく体を動かし五感を使う活動で言語・コミュニケーションスキルの発達を促しています。 好きな活動や楽しい活動を通して「話したい」「伝えたい」と感じることで言語・コミュニケーション力を育てます。 それぞれの特性に合わせて絵カードやペクスを使い意思の表出を促します。			
	人間関係 社会性	異年齢の交流やグループ活動により人間関係や社会性の発達を促しています。まずは支援者と活動し発達の状況を見てグルーピングを行い小集団での活動へと移行しています。 簡単なルールの遊びでルールの理解を促し、勝つことだけが良い事ではなく負けても「みんなと一緒にやるとたのしい」「そんなときもある」と言う体験をしています。 歩行トレーニングで、自分だけのペースから人にペースを合わせられるようになり「社会性」を伸ばしています。 当番や係の活動で「感謝」の気持ちを育てます。			
家族支援	子育て講座の開催 親子活動の開催（きょうだいや祖父母の参加を促す）	移行支援		就労事業所との交流 施設見学会の実施	
地域支援・地域連携	各関係機関と連携を取り必要に応じて情報共有を行い個別のケース検討会議等に 参加する。 自立支援協議会に参加	職員の質の向上		内部、外部研修への参加 定期的に面談を行う 働きやすい職場作り	
主な行事等	季節の行事（お誕生会、進級お祝い、イースター、こどもの日、七夕、おたのしみ会、お月見、ハロウィン、クリスマス、初詣、豆まき、ひなまつり、卒業式） 季節の工作、手芸 親子行事（運動会、お祭り、芋煮会、クリスマス会） 買い物学習 外食体験 社会体験（電車に乗る、カラオケボックス、映画館、プラネタリウム、ゲームセンターなど） 野菜の収穫、ガーデニング				